

建部藏軒 ツツノ 漢詩人。天保七年七月一日越後國海原郡新發田生れ、

明治二十七年九月二十一日歿（八六—八九）。諱利永、字貞夫、初名 としゆき

諸橋慶二郎、通稱爲吉、建部伏藏、貞夫。別號樸陰、藤陽、靜山。新

發田藩領大田領庄屋諸橋重九郎二男、横越紐庄屋建部庄助の嫡養子。

少時菊池千里に就き漢籍を修め、のち渡邊鐵崖、青木青城に經史の實

學を學び、鈴木重胤、岡部春牛に國學を愛く。慶應二年高島流術術免

許を得る。維新後郡村の筆に當り、明治十八年新潟學校助教諭、二十

年廢校廢官。平生詩文を能くし、餘事下雖も亦夕詩調ヲ脣下セバ

（坂口五峯）と。社會學者建部遜吾はその嗣子。

遺稿集 『藏軒存稿』（昭和十年十月二十一日建部遜吾論刊）。

